

今回のテーマは「四賀という宇宙」。  
お楽しみいただけると幸いです。



# たね

2022年  
夏号

松本市四賀地区のフリーペーパー

松本市四賀地区のフリーペーパー「たね」

2022年7月1日発行

発行人：相原愛 デザイン協力：相原優  
動画制作：三丁目ちひろ（撮影・編集）  
協力：四賀地区地域づくり協議会

ご依頼・お問い合わせはこちら  
ご意見・ご感想もお待ちしております！  
[hanahirakuki@gmail.com](mailto:hanahirakuki@gmail.com) (たね編集部)

四賀地区を知る情報サイト→  
「ハレホレ四賀」



## 四賀から宇宙へ

～四賀でロケットを打ち上げる?!～

2022年5月、子ども向けのロケット教室が、この四賀で始まりました！  
開催されているのは、たねではおなじみ、瀧澤輝佳さんです。  
なぜロケットを飛ばすのか、なぜ四賀なのか。その思いを綴っていただきました。

昨年、日本の前澤友作氏をはじめ、世界各国の民間人が宇宙旅行を実現し、『宇宙旅行元年』とも言われました。また、今年は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）が13年ぶりに日本人宇宙飛行士の選抜を行っています（実はほくも応募してしまいました）。

その影響もあってか、ほくの中で宇宙熱が再燃してしまい、とうとう四賀で子ども向けのロケット教室を開くことにしました。

その第1回目が5月22日に四賀支所と四賀小グラウンドで行われましたが、参加した子どもたちも大変喜んでくれて、ほくもそのキラキラした表情を見て、幸せをもらいました。

この手作りロケットは、火薬のロケットエンジンとぶ、モデルロケットと言われるもので、最高時速200km、高度50M以上飛ぶ本格的なものです。10年くらい前から勤務先の学校で子どもたちと作って楽しんでいたので、広く募集して興味のある子どもたちみんなに体験してもらいたいという構想はずっと持っていました。そして、小説やドラマなどで有名な『下町ロケット』のモデルとも言われる北海道の植松電機の植松努さんのロケットキットに出会いました。

ペーパークラフトではありますが、このキットは本当によくできていて、子どもたちが自分の力でモデルロケットが作れ、ほとんど失敗なく打ち上げられ、パラシュートによる回収までできます。

そして、何より、植松さんの「子どもたちの夢をあきらめない自信と勇気を育てたい」、「みんなが幸せになる社会にしたい」という熱い思いには本当に感動します。

なぜ四賀でロケット教室？と思う方もいると思いますが、実は四賀はモデルロケットの打ち上げには、とても良いところなのです。

- 日本の中でも晴天率が非常に高い
- 山に囲まれているおかげで、一番の宿敵である強風があまり吹かない
- 住宅が少ないので、万が一ロケットが風でグラウンドを出してしまってもあまり迷惑にならない
- 高い建物がないので、遠くまで見通せて打ち上げが気持ちいい
- 会場の四賀支所は駐車場が広くて車を止めやすい
- ロケットを飛ばす会場（四賀小学校グラウンド）が四賀支所のすぐ隣にある

などなど理由はたくさんあります。四賀支所の方もとても親切で、いつも温かいご協力をいただいています。

ほくは、四賀の美しい青空を優雅に舞う鳥たちをながめて、子どもの頃から20代まで飛行機乗りにあこがれていました。都会に出てその強い思いはいつのまにか薄れてしまいましたが、教員になろうと長野県に帰郷した20代後半からは、天然の天体ドームに囲まれた四賀の美しい星空に魅せられて、今度は宇宙へのあこがれを強く持ちました。四賀の豊かな環境が、子どもたちの夢を育むきっかけになれば嬉しいですね。

信州ロケットチャレンジプロジェクト 瀧澤輝佳

「好き」「楽しい」という気持ちは、わたしという宇宙にきらめく希望の星のよう。  
ロケットをつくって飛ばすまでの楽しさはもちろん、常にあたらしい挑戦を続ける  
瀧澤さんに、きっと前向きなエネルギーをもらえるはずです。

今後の開催予定はこちら！  
ぜひ参加してみてください。



ロケット教室の様子も見られる！

動画コンテンツ「とびだす！たね」  
7月1日より配信スタート！



つながる・みつける・宝もの 地上にひろがる宇宙

長野県松本市の市街地と周辺一帯からなる松本盆地。その中で、奈良井川・梓川・犀川・高瀬川を挟んで松本市・安曇野市・塩尻市・大北地域は松本平と呼ばれています。昨年、その松本平に自生する植物の生息地や特徴を一冊にまとめた「松本平の植物2021」が出版されました。今回は、本の著者であり、四賀地区会田在住の横内文人さんにお話を伺いました。

——本を楽しく読ませていただきました。長年にわたって調査をされてきて、それらをこのように一冊にまとめられたというのが、すごいことだなと思って感動しています。山野草や高山植物ではなく、その辺りに生えている身近な植物がまとまっている、というところも珍しいと感じました。

10年かけてつくりました。松本平で普通に見られる植物、松本平の旧市町村別の植物目録の二部構成になっています。植物目録と言うのは、人間で言う戸籍謄本のようなものだ。元々は約20年前に明科町史の自然編を担当したのが始まりでね。明科町に生えている野生の植物の名前を全部書きあげていくんです。明科を細かく分けて、一年間の中で、同じ場所を同じコースで少なくとも三回は歩く。右側を見て歩いたら、左側が抜けるし、その時にちょうど花が咲いているとは限らないから。

——目録の部分を見れば、この植物が松本平のどこにあってどこにないのか、一目瞭然ですものね！それぞれに学名と意味が書いてあるのも、面白いです。解説がシンプルで、誰が見てもわかりやすいのではと感じました。

なかなか学名の和訳まで書いている本はないと思うよ。学名は仲間を表しているんです。人間で言う苗字みたいに、グループで属名をつけて。解説文は、なるべく簡潔にまとめました。長いと私だったら読むのが嫌になっちゃうもん。

——お父様も植物の研究をされていたと伺いました。

父は教員だったんだけど、教員になってから植物の勉強を始めてね。昭和39年、民間人では初めて昭和天皇・皇后陛下下に植物をご案内しました。長野県の植物を一冊にまとめようとしていたけど、本にならないうちに亡くなってしまって。遺された原稿がみかん箱一個分ありました。それを子ども一同で自費出版しました。(信濃植物誌・横内斎著 銀河書房)

私が小中高と学生の頃、父が山へ行って帰って来ると、押し葉(標本づくり)を手伝わされてね。山ほど持って帰って来るの。それを新聞紙に挟んで、重しをする。新聞紙を毎日変えて乾かすんですよ。持って帰ったのを全部私に預けると、また次の山へ行く。それで、帰ってくると標本のところに顔を当てて、

——今日出していただいたこのお漬物、すごく美味しいです！これは何ですか？

当ててみて。においは？ある？ない？

——におい…あります。セリ…？かなあ。

そう、セリ。春の七草だ。

——これはミョウガの茎ですね？これも美味しい！茎も食べられるって、知らなかったです。

奥様…そう仰る方が多いです。こうやって漬物にしてもいいし、おそうめんや冷や奴の薬味にしたり、刻んで鰹節と一緒にあたかご飯にかけるのも美味しいですよ。

——わー、やってみよう！横内さんの本を眺めていると、「雑草」という植物はないのだなと思います。人間が勝手にカテゴライズしているだけで。

そうですね。

——「毎日のように眺めているこの大地の緑は、植物の衣です」「人々の生活する、僅かな隙間にも植物は生きています」という、冒頭にある言葉がすごく沁みます。

あの生命力ね！たいしたもんだよ。ブロックの隙間からね。

——目にすることで、ほっとしたり、元気をもらったり…きつとしていますよね。この本を片手に、これからもっと家の周りを探索してみようと思います！横内さんが出会った中で、特に思い出に残っている植物があれば伺ってみたいです。

この本には載っていないけど、ケシヨウヤナギ。1927年(昭和2年)に上高地で本州で初めて見つかったヤナギです。今年伸びた枝は、秋になると赤くなり、去年から三年前の枝は白くなるの。白いロウをふいて。それが化粧したように見えるからケシヨウヤナギという名前がついている。北海道の十勝と日高にあって、本州は東北から関東を飛んで上高地。昭和22年に旧安曇村の波田との境の梓川の土手で本州では初めて上高地以外に見つかった以来、今では広がってあちこちで報告があります。分布が珍しいということがひとつ。あと、他のヤナギと違い、挿し木・移植が出来ないところ。私にとって、色々と思いがあがる木ですね。

——ありがとうございます。ケシヨウヤナギ、私も見てみたいです。最後に、横内さんが植物のどのようなところに魅力を感じるのか、お聞かせいただけますか？



「つめてえ、まだ乾いてねえ」って言われてね。乾いてないとひんやりするんですよ。私もやってみてわかったけど。

そうして父の仕事を手伝ったり関わっているうちにいつしか興味を持っていったんだと思います。長野県の内地留学制度を使って、東京の国立科学博物館の本館に一年間留学に行きました。上野の展示場ではなく、新宿にある本館の方でね。国内外の学者が予約を入れて見に来るような専門的な場所。当時、約40万点の植物標本があったかな。

——横内さんが植物に興味を持たれたのは自然な流れだったんですね。本を読んでいた中で、食用になるものは参考欄にそう書いてあったのも楽しかったです。この時期に食べられる植物というと、どんなものがありますか？

クズの新芽。5月中旬下旬からだけど、まだ伸びてるよ。それを2〜3束にして天ぷら。褐色の毛が生えていて最初はちょっと見た目で躊躇するかもしれないけど。クセがなくて美味しいですよ。コロナ禍前に毎年やっていたクラインガルテン(※)の山菜講習会でも好評だったよ。ある年に持っていかなかったら「横内さん、今年はクズはないんですか？」って(笑)好きな人は覚えているんだねえ。本当、あっさりしててね。やってみて。

——四賀に来て、こういうお話を聞けることが本当に楽しい！私は東京から松本に越したばかりの頃は市街地に住んでたんですけど、市場でヤバカンソウとか野草を見ると、珍しいと思ってわざわざ買っていました。でも、四賀に来たらその辺りや庭にいっぱい生えていて…

はっはっは。ヤバカンソウでも何でも食べられるものはそこらに生えてるよ！

——他にどんなものがありますか？読者にレシビや食べ物の記事を書いていただける方が多くて。ぜひ教えていただきたいです！

オオバコの葉は年中いいし、ユキノシタ、ヨモギの新芽もいいね。

——それらはどうやって食べますか？

天ぷらだね！うちもつばら天ぷらだわ。

——天ぷら最高ですよ！いつ食べたって美味しいもの。野草は油と相性がいいんだろうなあ。

アクも抜けるしね。オオバコは葉の中に空気が含まれているから、楊枝かなにかで穴を開けてから揚げてください。あとは、ニラのつぼみも結構いいよ。天ぷら、おひたし、卵とじ。下からすーっと自然に折れるところを摘んでね。葉の部分より甘みがありますよ。

ちょっと(本の後ろの索引) 見えて、「タカアザミ」を引いてみて。

——あ！この植物って坂北にしか生えてないんだ…！

ね、こういう発見が嬉しいんだよ。松本平ではここ一カ所にしかない。そういう事を発見した時の、おどろき。わくわく。そして、それを松本平で発見したの私なんだ！っていうね(笑)

——貴重なお話をありがとうございました！

「植物と仲良しになるには、先ず名前を知ることです」と、横内さん。この本を開いて身近な植物を観察してみたら、新しい世界に出会えるかもしれません。地上に星のように散らばり、気がついていようといまいと、植物はいつも私たちと共にある。四賀の大地にも横内さんの中にも宇宙が広がっていました。(取材・編集・構成・イラスト…相原愛)

横内さんよりクイズ！次の植物の和名はな〜んだ？！(正解は下)

- ①チュウリップ ②ダリア ③シクラメン ④アスパラガス



「松本平の植物2021」取扱店(2022年7月時点)  
・MARUZEN(松本店) ・興文堂(平田店・アイシティ店)  
<ご本人からも購入可能です(消費税がサービスとなります)>  
横内文人(電話)0263-64-2976(住所)松本市会田110



定価2,200円(税別)

この本は中島学元四賀村長さんより、松本市・東筑摩郡・塩尻市安曇野市・大町市・北安曇郡の各小中学校に寄贈されています。生徒の皆さん、学校で読んでみてくださいね。

読者プレゼント

「松本平の植物2021」を抽選で1名様にプレゼント。お名前・ご住所・ご年代・ご感想を添えて、ハガキまたはメールにて応募ください。お待ちしております！

E-mail: hanahirakuki@gmail.com(たね編集部)

〒399-7411 長野県松本市中川7073-4  
四賀東簡易郵便局留「たねプレゼント係」宛

応募期間:2022年7月1日~7月31日  
(期間を過ぎたハガキはお手元に転送されます。ご注意ください。)

尚、このフリーペーパーに関しまして、四賀東簡易郵便局は一切関与しておりません。お問い合わせは、たね編集部までお願い致します。

『今度、スーパーで「オランダキジカクシください」って言うてみたらん!!』横内さんより

(※) クラインガルテン…ドイツ語で「小さな庭」。地域の人々との農業体験とおして、地域の暮らしを体験する滞在型市民農園。四賀地区には2カ所ある。

五加康平の

# 宇宙で聴きたい!このレコード



**TITLE** Durch Die Wüste  
**ARTIST** Hans-Joachim Roedelius

西ドイツ 1978 年 Hans-Joachim Roedelius のソロ・アルバム。  
自然主義志向、ノスタルジックな傑作でジャケからも伺えるように、  
まるで宇宙空間に飛び込んだような世界観が楽しめるレコード。  
ギター&シンセを多用しながら広大な音の渦に包みこまれます。



**TITLE** Harmony Of The Spheres  
**ARTIST** Neil Ardley

イギリスで 79 年にリリースされた Neil Ardley の作品。  
アルバムタイトルやジャケットも幻想的でロマンティック。  
内容はエレピ、Moog、ベース、ギター、ソプラノサクソやパーカッ  
ションで構成されています。  
一枚通して聞き終わった後はまるで宇宙旅行から帰還したかのような  
錯覚がする宇宙的一枚!



五加音響研究所 (代表・五加康平)

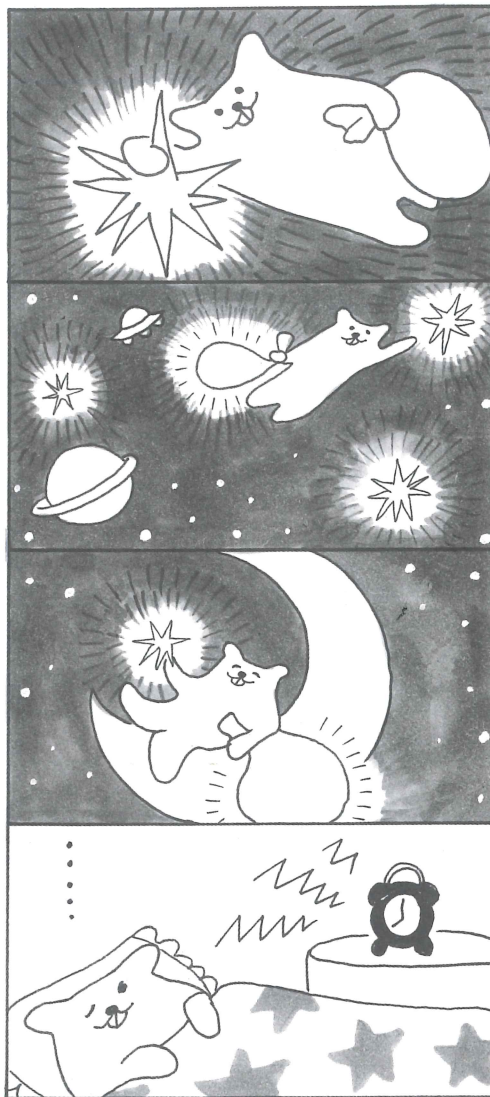
音響機器の製造・販売・店舗向け音響機器プランナー相談・  
各種保守修理など、音に関わる事なんでもご相談下さい。



Instagram

びろーんしま

作・画 相原愛



★ラジオ出演情報『みんなこゆずのうちで話せ』  
ラジオに出演してきました。ゆるゆると癒されるような空気感の中で、  
楽しくお話しさせていただきました。たね制作についてもたっぷり触れ  
ています。ぜひ聴いてみてください!

## 編集後記

第1回ロケット教室で、ロケットキット開発者の植松努さんのTEDトークを見る時間が  
ありました。その中にあった「出来ないより出来る理由を考える」たった一回の人生を  
ぶっつけ本番で生きている」という言葉が印象に残っています。完璧などない。失敗し  
たら、また方法を考えればいだけ。  
いくつになっても「ただ今、成長中!」私もそのように生きたいと思います。

「協賛いただきありがとうございます!」  
ご協賛いただける企業店舗・団体・個人様  
を随時募集しています!

Yorozuya  
**ikkaku**  
よろづや 安曇野市穂高 5971-3  
いっかく (穂高神社北側大鳥居下)  
<http://ikkaku-yorozu.com/>

毎日の暮らしの「困った」を  
「良かった」に変える  
**さいとう  
けんちく**  
一級建築事務所  
**0263-64-2228**  
松本市中川 3242-1  
<https://www.saitoken.net/>

「夏の大結ぶ市」は  
7月30日(土)に開催!  
**結ぶ市**  
MUSUBU-ICHI  
<https://musubu1.com/>

「ご相談ください」  
太陽光発電施工  
造作大工  
電気工事  
リフォーム工事  
**Routefinding**  
ルートファインディング  
**080-4422-2866**  
(遠藤真哉)  
松本市七嵐 783-3

もっと食べて喜らそう  
信州・四賀  
**たべくら農園**  
tabekura.com

庭の仕事承り   
**0263-30-8416**  
庭師 鈴木  
松本市会田3920  
niwashi-suzuki.com

Graphic Works  
Leather Works  
ホームページお作りします。  
靴もお作りします。  
**0263-88-7893**  
<http://nieyol.com>

Youtube  
動画はこちら↓

